



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第57号)

2007年11月21日発行

その生きていた時代に…仕えるHCJB 使徒13:36

21世紀に入り、世の中は政治、経済、文化などあらゆる面でめまぐるしく変化をとげています。ひと昔前に警告された情報化時代における「未来の衝撃」はとっくに現実のものとなり、IT革命に代表される現社会への圧力はHCJBにもいち早く押し寄せてきました。

HCJBは1931年から「世界放送伝道団」の名のもと、南米エクアドル国首都キトから「アンデスの声」の愛称で親しまれる番組を、多くの言語で文字通り世界をカバーして放送してきました。75年という長い歴史を刻んだHCJBにも、その表看板であった「国際短波放送」をおろす時がやってきました。技術革新による新しいメディアの導入が、番組提供スポンサーをテレビやインターネットに移行させはじめたため、局の財政が苦しくなってきたのです。折も折、長年懸案となっていたキト新国際空港の建設設計画が本格化し、飛行の安全性を確保するために、HCJBのピフォ送信所とアンテナ設備一切をすみやかに撤収するようエクアドル政府から通達がとどきました。放送局にとっては大きな打撃です。しかし、HCJBはこの余儀ない転換(change)を挑戦(challenge)として受けとめ、未来へ希望を託しました。確かに規模的には縮小を強いられますぐ、それも内部での適材適所と能率化をはかり、外部とはパートナーシップを組んで同じくつわを並べていくという相乗効果をねらうことになりました。HCJBがこれまで積み上げてきた業績を生かして、目の前に広がる新天地に雄々しく、大胆に歩をすすめることになったのです。困難な事態に縮こまることなく、むしろ可能性にむかって大きく手をひろげるとき、神は、すべてを良きに変え、動かし、鍛え、整え、用いてくださる方だからです。



HCJB日本語放送は20世紀で終了したにもかかわらず、昨年、オーストラリア送信で復活したのも奇跡的に神が門戸を開かれたからです。日本短波クラブも今年で55周年を迎えたとのことお慶び申し上げます。「短波」を大事にし、「短波」とともに歩みつづけておられる方々に、これからもHCJBが微力ながらお役にたつことができることは光榮なことです。私自身、1991年に「アンデスの声」コンサートに同行して訪日しました。そして、日本各地で熱心なリスナーの方たちにお会いすることができました。それだけに、日本語放送の再開のうれしさもまたひとしおです。どうか、これからも番組を楽しんでください。そして、ものごとが移り変わる現代にあって、いつまでも変わることのないメッセージをぜひ自分の心にたくわえてください。人生で最も大事で、かけがえのないものは、自分の体と心なのですから。

シカゴのHCJB日本語放送スタジオから皆様の上に神の祝福を祈ります。

2007年11月

HCJB理事長 ジム アレン

HCJB日本語番組放送予定

| 放送日 | サタデー・トーク ホスト:尾崎一夫(HCJB) | バイブル・トーク 淀橋教会 峰野龍弘牧師 |
|----------|----------------------------|-------------------------|
| 11/24(土) | ジム アレンHCJB理事長 | |
| 11/25(日) | | 詩篇53篇 |

| | | |
|----------|-------------------------------|----------|
| 12/01(土) | 永野 正和(京都聖書教会にて) | |
| 12/02(日) | | 詩篇55篇 |
| 12/08(土) | 高橋、金子、佐藤3氏 (秋田市グロリアチャペルにて) | |
| 12/09(日) | | クリスマス(1) |
| 12/15(土) | クリスマス(1)歌クイズ | |
| 12/16(日) | | クリスマス(2) |

HCJB日本語放送担当

在主 尾崎一夫

HCJB日本語放送(オーストラリア送信):

放 送 日 時 : 毎週土曜日、日曜日
日本時間 0730 - 0800 (2230 - 2300UTC)

送 信 周 波 数 : 1 5 5 2 5 k H z (19 m b)

受信報告書の宛先 : 〒169-0073
東京都新宿区百人町1-17-8
淀橋教会HCJB係
(※返信用に80円切手を2枚同封して下さい)

【ホームページのご案内】

HCJB日本語放送のホームページ(<http://japanese.hcjb.org/>)には、リスナー・コミュニケーションのためのふれあいコーナー「[フォーラム](http://japanese.hcjb.org/forums/)」(<http://japanese.hcjb.org/forums/>)と、メールマガジンのバックナンバーを揃えた「[メールマガジン e-La Voz らいぶらり](http://www.hcjb.org/japanese/mmz/)」(<http://www.hcjb.org/japanese/mmz/>)のページがあります。どうぞご利用ください。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録も[HCJB日本語放送](#)までメールにてお知らせください。なお、メール・リストは配信先メール・アドレスのみで管理されていますので、配信先変更をご希望の場合には、現在登録されている配信先も併せてお知らせください。



Copyright © 2007 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://japanese.hcjb.org/>

Eメール: kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. Kazuo Ozaki

1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.